



# RIOからNANAOPIC、そしてTOKYOへ ～七尾病院1階病棟行事“運動会”を実施して～

療育指導室 保育士 花田 瞳

当院の1階病棟には主に重症心身障害（身体にも知的にも重い障害）の方々が入院し、長期にわたり療養生活を送っております。その方々にとって当院での入院は、医療の場であり、生活の場でもあります。楽しんだり気分転換をしたり、季節感を味わったり、人生の節目のお祝いをしたり…と、1年を通して少しでも生活に豊かさと、うるおいを感じていただけるように私たち療育指導室は企画・運営を行っています。

今年、秋のはじめ10月1日(土)に秋の大運動会を開催しました。テーマは『オリンピック』オリンピックYEARにちなんで、リオオリンピックの感動と興奮を七尾病院でも…ということで『NANAOPIC』と称して行いました。

聖火リレーで幕開けし、聖火は患者さん・ご家族・職員とわたり、最後は酒井看護部長へと見事につながり、大きな聖火台へと点灯されました。すると、大きな拍手と歓声がわきました。

種目は、リオオリンピックで金メダルを獲得し、盛り上がった競技（水泳、柔道、リレーなどなど）を親子で楽しめるよう工夫を凝らしました。中でも、「目指せ！ウサインボルト！」と題したリレー競技は、一生懸命に自分で歩いたり、親と子で手を引き歩いたり、歩行器などを利用し、介助をされながらも一歩ずつ進む姿に「がんばれー！！すごい！！」と大きな声援が送られ、中には感動のあまり涙する方もおられました。また、ご家族や職員による勝ち負けを賭けた真剣勝負もありました。

競技後には金メダル・銀メダルを手にし、たくさんの笑顔があふれていました。

曇り空からのスタートだった『NANAOPIC』は、途中から太陽が顔をのぞかせ、最高の秋晴れとなり、大盛況のまま幕を閉じました。これは患者さん、ご家族、職員をはじめ、七尾看護専門学校の学生ボランティアの皆さん等、たくさんの方の協力があったからこその大成功だったと感じています。

この先の夢は、2020年のTOKYOオリンピック！これからも皆で力を合わせ、より良い療育や行事をつくっていききたいです。

